

株主の皆様へ



厳しい経営環境を克服するとともに、成長のチャンスを実確にとらえ、アジアNo.1の航空企業グループを目指します。

2009年4月に代表取締役社長に就任いたしました伊東信一郎でございます。株主・投資家の皆様におかれましては、ANAグループの経営に平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(2009年3月期)は、上半期で過去にない原油価格の乱高下に見舞われるとともに、世界同時不況の影響を受け、下半期よりすべての事業分野で需要が大幅かつ急速に落ち込みました。このような経営環境の下、需要減少に対応して路線・便数の見直しや機材の小型化を行う一方、全力で費用削減に取り組みましたが、収入の減少を補うには至らず、残念ながら当期純損失を計上するという結果になりました。

2010年3月期は、新型インフルエンザなどの新たな不安要因も加わり、引き続き厳しい環境下での経営が予測されます。しかしながら、ANAグループでは「2009年度緊急対策プラン」に基づき、需要動向に対応した路線再編など事業計画の見直し、過去最大規模のコスト削

減、投資の抑制を推進するとともに、下半期からの需要回復を見込み、当期利益の黒字化を目指します。そして、2010年3月の成田空港と同年10月の羽田空港という、2つの首都圏空港拡充に向けた準備を着実に進めてまいります。なお、2011年3月期以降の中期経営戦略については、2010年3月期下半期中に発表する予定です。

ANAグループは、品質、顧客満足、価値創造でアジアNo.1の航空企業グループを目指すことを経営ビジョンとして掲げています。株主・投資家の皆様からの建設的なご意見に耳を傾けながら、全役職員が一致団結して経営ビジョンの達成を目指していく所存です。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役社長 伊東 信一郎

伊東 信一郎